

## 令和元年度 第3回志摩市地方創生審議会 議事概要

日 時 令和2年2月4日(火)  
10:00～11:50  
場 所 志摩市役所4階 401会議室

### 出席者(順不同・敬称略)

(1) 審議会委員(13名)

牧谷拓、柴原行正、大西晶、内田清隆、岩崎恭彦(会長)、齋藤平(副会長)、松井佳子、畑野悦哉、清水久史、尾間正美、米澤尚之、東川清加、井上摩紀

(3) 事務局(4名) 東桂一、北山亥之生、大寄伸人、米奥宏規

傍聴者…4名

### 事項書1. あいさつ

【岩崎会長】

開会挨拶。

【事務局】

11月の任期満了を受け、委員が一部交代したことについて報告。

委員16名中13名の出席により会議が成立していることを報告(志摩市地方創生審議会条例第5条第3項)。また、志摩市地方創生審議会条例第5条第2項の規定に基づき、議事進行を岩崎恭彦会長に引き継ぎ。

### 事項書2. 議事 第2期志摩市創生総合戦略の策定について

【岩崎会長】

事務局より資料の説明を求めます。

#### 《① 第2期志摩市創生総合戦略(案)の確認》

【事務局】

以下の資料に基づき、前回の会議以降の動向及び第2期志摩市創生総合戦略(案)の概要について説明。

資料1 第2期志摩市創生総合戦略(案)

資料2 第1期志摩市創生総合戦略に係る評価(総括)

資料3 まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(令和元年改訂版)及び第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(概要)

資料4 企業版ふるさと納税の拡充・延長(抜粋)

【岩崎会長】

前回の審議会において、総合戦略の大枠についてお示しいただき、委員の皆様にご確認、ご承認をいただいたものと思います。今回、各施策の具体的な取り組み、それから KPI が盛り込まれたということなので、これらの点についてご質問、多様なご意見をいただきたいと思います。

#### 【米澤委員】

2点申し上げます。ハローワークに関わる部分について、1点は要望事項です。5) - 1「就労支援の促進」の施策内容に「市内企業等の求人情報の周知や就職するために必要な技能の習得」とありますが、ハローワークでは求人情報の紙ベースのものを作っていて、志摩市では、市内の4支所と本庁舎の1階に置いてもらっています。これを市の施設にもっと幅広く、もう少しオール市役所で幅広くあちこちへ置いていただければと思います。隣の市では10か所以上置いてもらっているので、要望としてお願いします。もう1つは、移住促進について、2) - 4「移住・定住の促進」という部分で、だんだん充実してきているのかなと思いますが、ここも私どもと連携していただければ、もう少し進むのではないかと思います。移住は、住と職の両方をセットで進めると色々進みやすいと思います。ここの部分は私どもが色々お手伝いできるので、ぜひご相談ください。

#### 【事務局】

確かに求人情報については、ハローワークのホームページにネットで接続できるものはありますが、年配の方や手に取ってみたいという方には、紙ベースの資料は大事だと思います。移住相談会でも、ハローワークで配布しているものをコピーして持っていくと、見てくれることもあるので、ニーズはあると思います。施設管理者に話をして、支所と本庁以外にも広げていきたいと思っています。

もう一つの移住・定住については、当然、仕事がないと移ってこれないというのが事実なので、もう少し連携をとれるよう、色々ご相談させてもらえればと思います。

#### 【齋藤副会長】

1) ひとの育成の「地域で活躍する人を育てる」の基本的方向に「生涯にわたり活躍するひとをつくる」ということがあり、具体的な施策を見ると、健康づくりと介護予防、それと生涯学習、スポーツといった健康面での取り組みは多いようですが、もう一つ、今回、国から示された総合戦略の中で横断的な目標の中に、「多様な人材の活躍を推進する」というのがあり、今、年金制度のほうで受給年齢を引き上げるかわりに受給額を高くするなどというようなことの制度改正が行われるということです。地域でも働く高齢者に対する施策があってもよいかと思います。

#### 【事務局】

高齢者と言っても元気な人も多く、スキルを持っていたりします。人口が減っている中で人手不足の企業も多いということなので、高齢者、また女性も含め、マッチングできるよう、もっと具体的に考えていければと思います。

#### 【松井委員】

1) - 1「地域とつながる教育の推進」について、今、小学校のほうでも地域で働く人とふれあう、地域で働く人のところへ出かけて体験するとか、来ていただいて仕事について話を聞くことで、自分の将来について考えるといった授業を行っています。中学校では市内へ職業体験に行っていま

す。以前、小学校は施策の中に入っていなかったと思いますが、今回、「市内小中学生児童・生徒」ということで入れてもらっています。小中高、大学と地域のことを理解して、自分の将来の事を考えて「地域が大好き」という子どもを育てていくための施策としていれていただいております。

また、1) - 2 「時代に対応した教育の推進」について、プログラミング教育が入ってくるので、プログラミングの出前事業を受けています。子どもたちは、教員が研修を受けたよりもうんとスイスイとサクサクとやっています。こういった情報化への対応とか、来年度から取り組んでいく小学校での英語の授業に向け、ALT や CIR の活用面などを施策に入れていただいております。

5) - 1 「就労支援の促進」のところでも記載いただいておりますが、仕事についての情報は、小学生は小学生なりに、中学生は中学生なりに情報を与えていただいて、そして体験して、マッチング・自分に合うかどうか考えてみたりするということは小中学校のキャリア教育ともつながるところなので、きちんと施策に入れていただいております。

### 【東川委員】

数値目標の中の指標の部分に関して、指標とされるものがふんわりとし過ぎているのではないかと思うところがあります。私は伝える側の仕事をしているので、いかにわかりやすく伝えるか、わかりやすい表現をするかということが大事だと感じていて、こういった資料においても、回りくどく書くよりもっと端的にわかりやすい表現で指し示さないといけないと思います。何を指標として目標を立ててそこに向かってやっていくのかということが明確に見えないと、こういった審議会で審議する上では委員にはわかっても、市民レベルになってくると、市として何をやっていきたいのかあまりよくわからないというふうになってしまいます。地方創生や人口減少の歯止めのために、市民レベルが理解していなかったら意味がないと思います。具体的に言うと、1) ひとの育成の数値目標のところに関して言えば、「地域に誇りをもてると感じる市民の割合」ですが、もっとシンプルに「地域に誇りを持てる」ではないでしょうか。持っているか、持っていないかが大事だということなので、そういう指標の表現のところの部分だとか、1) - 3 「市民主体のまちづくり支援」のところの、施策内容の最後の行、「将来の地域を担うリーダーとなる人材の育成を図る」という内容であるにも関わらず、KPI の目標に指標が「地域の活性化の取り組みに参加している市民の割合」ということで、ズレている気がします。リーダーとなる人材の育成ができたのかどうか、ということが KPI としての評価基準にあたるのではないかなと思います。指標と目標内容のところのずれがあるのではないかと思うところが、いくつかあるので、ふんわりとした目標ではなく、具体的にどうなのかということが明確に数値化してわかる表現にした方がよいのではないのでしょうか。

### 【事務局】

今回 KPI の設定に関して、第 1 期の総合戦略では「事業として何をどれだけやったか」という KPI となっていました、「結局それが地方創生につながったのか」ということが、はっきりわからなかったということを反省して、もう少し大きな観点の目標にしたということと、あと検証可能かどうかということで、担当課のほうと議論しながら設定しました。ご指摘の部分については、リーダーが何人できたかという KPI にしたほうが本当はいいわけですが、それをどのように測るか、何ををもってリーダーとするのかなど、なかなかその辺のところは難しいところがあります。市民の人達にわかりやすいということを追求していかななくてはいけないので、施策内容にもっと直結して

わかりやすい KPI というものを今後も模索していかなければいけないと思っています。

#### 【岩崎会長】

東川委員の意見を聞いて、一委員として感じたことを申し上げます。行政としては立てた目標の達成度を何で測るかということから、こういうものを作り込んでいく傾向があり、おそらく「誇りを持ってると感じる市民の割合」は市民アンケートで確認するということなので、市民アンケートの項目をそのまま当てはめることでこういう表現の作り方になったのではないのでしょうか。ただ、そういう作り方が市民にわかりやすいのか、わかりにくいのかというところで問題提起をしていたところなので、そこは事務局で検討いただくとよいかと思います。また、1)－3については、前回の総合戦略が事業ベースだったのに対して、今回は施策ベースでまとめるかたちとなった関係で、一つの施策に複数の事業がぶら下がっているというかたちになっています。1)－3であれば、多くの市民が参加するというのも重要であるし、それに加えてその核となるリーダーが育成されていくということも、この施策の中には含まれてくる形になっているので、一つの施策に対して複数の視点から評価するみたいなことが、これからの総合戦略では重要になってくると思います。今回はまだ一つないし二つの KPI の設定にとどまっているので、今後さらに検討する必要のある部分があるように感じます。

#### 【大西委員】

個人として何ができるかということと、企業としてどう絡めるかということを考えると、観光産業としては、4)－4「観光産業の振興」になるかと思います。ただ、KPI が非常に大きな指標になっているので、手間がかかってしまうかもしれませんが、例えば、モデル企業をピックアップして、具体的にその企業を1年間通して、これに絡むことでどのような実績が出せたということモニターする。それを発表するかどうかは別として、サブ的な KPI というか、サンプルとして協力させていただくことが、私たち事業者もできるのではないかと思います。あと、私たちも事業をしていく上で、一番困っているのは従事する人たちの確保であり、他のテーマや人づくりなども関係しますが、例えば、先日も「子どもたちに講演をしてほしい」といった市役所からの依頼を受けましたが、それだけでなく、「こういうこともやれる」という逆アプローチができるような窓口のような、ここに行けばこんなことをしている、したい人がいる、してもらいたい人を探しているというような、そういうマッチングができるようなものがあれば、個人であれ企業であれ、もっと細かい具体例の積み上げができるのではないかと思います。

#### 【事務局】

4)－4では、結果としてこれだけ観光客が入ったとか、入込み客がどうだったということを KPI にしていますが、各企業における動向も一つの目標として、全部やると大変なので、この地域のサンプルとして、この業種でどうだったということを調べられるのであれば、私たちとしても目に見えてどの地域がどうなってということが、あくまでサンプルではありますが、すごく参考になるので、それについては検討したいと思います。あと、学校などでお話をしてもらえる方というのは本当にありがたくて、ご協力いただける方が市内の中で、私たちの把握が弱い部分もあるので、そういったことをしたいという方がどこに行ったらいいのかわからないという現状があるかと思います。逆アプローチできる窓口の設置についても、貴重なご意見をいただいたと思うので、検討させていただきます。

#### 【畑野委員】

4) - 3 「商工業の振興」ですが、それとは別に5) - 2 「創業の支援」もあり、どちらもよく似たことが絡んでいます。5) - 2 の「創業の支援」には、具体的に創業支援事業があり、市の中で、しっかりと施策が立てられているので、目標件数 15 件というのは具体性があるなど思うのですが、「商工業の振興」の目標値 2,200 者について、ここをどのようなかたちで KPI を設定されたのかということが気になったことが一つと、中小企業支援事業について、県が実施しているこれらのことをやりますとざっくり書かれているだけのようですが、ここが非常に大事なところ。施策内容を見ると最後のところに「事業承継に関する支援を行う」と書かれています。まさしくこれだと思えます。事業承継の取り組みは、例えば、三重県の産業支援センターと連携して多分取り組むと思えますが、商工会もあります。その具体的な件数として何件取り組んだとか、何件事業支援が行われたとか、そういう具体的なところのほうが、事業承継の支援には有効かと考えるので、そのあたりの数字の根拠等を教えていただければと思います。

#### 【事務局】

事業承継に関しましては、志摩市ではそのお店の方が引退したら終わってしまうとか、そういった状況が危惧されておりまして、どうやったら事業承継できるか、子どもが遠くへ出て行っているとか、あるいは従業員が定年退職されるとかということが目に見えている中で、商工業の振興というのが危ぶまれているということで、事業承継ということを実施内容としてあげているということです。あと、今のご質問の 2,200 者という目標値につきましては、そもそも人口が減少しているという中で、商工会のほうで事業者の推計というものを持っていて、その数値というのがおおよそ 2,200 者という、それを最低限、維持していくということで、このような KPI になっております。ただ、KPI についての議論はもちろんしておりまして、事業承継であるとか具体的な部分の議論もしております。またあらためて担当課とも話をさせていただきます。

#### 【柴原委員】

4) - 4 「観光産業の振興」というところですが、施策内容に関して、具体的な取り組みということで、外国人のおもてなし、バリアフリー、クアオルト、スポーツ観光、ガストロノミー、灯台ワールドサミットの取り組みとありますが、私も携わっている人間として申し上げますと、人を集めるこれらのことをいかにビジネスに結び付けていくのかということです。今度 2 月にガストロノミーのイベントが始まってきますけれども、そこで 350 人~400 人の方がここに来ることなのですが、そこでいかに志摩市の業者が、おもてなしをする立場で、ビジネスとしてそれを成功させられるのかがやはり大事だと思います。そこを検証するにあたって一番問題なのが、宿泊客数です。ここが目標値に対してあまり近寄っていないということになると、当然、言葉で言うと素通りしてしまっているということです。当然 500 人~600 人が色々来てもその時だけで、そのまま帰ってしまう、そういうことが起こっていると思います。そのあたりを市と商工会も関係して、いろいろな事業所、そういうところと本当にビジネスとして存続させるにはどうするのかということをお話していったほうがよりいいものになっていく。それに関して一つ言いますと、今度、スペインのナショナルチームもこちらに事前キャンプを張る、それにあわせてホストタウンになります。その時にスペインの皆さんをどのようにおもてなしするか、これが形だけでは、たぶんスペインの皆さんも「？」ということにもなってしまうと思います。どのようにして欧米の方とこの志摩市を結び付けていく

のかということも、人を集客する、仕事を起業するということと関連するものだと思います。志摩市の中で、ここにも書いてありますが、市内で多言語看板等を設置するというのも大事だと思います。余談ですが、三重県は、横断歩道で止まっている人に対して車が止まらないということで、47都道府県の中でワースト1位とのこと。三重県警察の方も困ってみえると思うのですが、このあたりが解消されていくということも考えていかないと、外国から来ていただいた方が、横断歩道でとまっているけれども車が止まらないという、それではちょっと根本的なものからずれてしまうのかなと思います。ですから、こういった取り組みに対してビジネス側がどう思っているのかという、その検証もした方がいいのかなと思います。

#### 【事務局】

確かに人に来ていただいて、それを持続的にやっていこうと思ったら、やはりビジネスとして成り立っていくということがないとなかなか難しいということかなと思います。あと、受け入れ態勢も、看板が多言語化されているとか、車がきちんと止まらなかったら、「なんだここは」と思われてしまうと、地域としてどうかということにもつながろうかと思えます。そういった点で何か検証可能なもので、わかりやすいものを探して、数値をもって、これをやることでいくつになつたというような指標があれば、なんとか取り入れていきたいと思えますので、研究させていただきたいと思えます。

#### 【柴原委員】

市民のみなさんの気持ちが、観光には直結してくると思います。事業所ばかりがやっても駄目で、市民の皆さんが取り組むということが大事だと思いますので、よろしく願いいたします。

#### 【牧谷委員】

1) - 4 「生涯学習・スポーツの推進」について、施策内容が、子どもから大人までがスポーツが楽しい、健康にもつながるようにスポーツしようというような感じだと思います。しかし、この施策の評価が、全国大会にどれだけ出たかみたいな感じなのですが、僕はスポーツやっていて強い人だけが評価されるのはどうかというように感じていて、上手な人が評価されて下手な人は評価されないみたいな感じに受取ってしまいました。やはりスポーツを楽しもうと思ったら、文化にしようと思ったら、上手な人も下手な人も楽しめるようにしたほうがいいのではないかと思います。なかなかこれは難しいと思うのですが、そのように思いました。

#### 【事務局】

志摩市に住んでいて、生涯学習やスポーツにふれて、そこでそういったことを楽しみにというか、あるいは強くなってそれを励みにということで、この分野についても今後しっかりやっていかなければいけないという中でこういう施策内容にしているということなのですが、それを数字で測ろうとする中、検証可能なものは何かということで、全国大会壮行会選手数というふうに置いています。こちらとしては、そういう強い人だけがということではなくて、市民の方がスポーツ・文化に親しめる環境をどんどん整えていくということが施策内容にはなっております。それをどう検証するかというところで、この指標しか見出せていないということです。今後、何かいい指標がないかということは検討していきたいと思えます。

### 【岩崎会長】

行政の方が苦慮されているというようなことですが、こういう形でKPIとして設定してしまうと、これが志摩市の目指す未来かというような受け止められ方をされると思いますので、慎重にぜひ検討していただきたいと思います。

### 【内田委員】

3) - 2「伝統・文化の振興」で、KPIが世界文化遺産・世界農業遺産等への登録数を設定されているのですが、なかなかハードルが高いという目標なのかなと思っておりまして、これだけを指標にすると、これが達成できないと何も評価されないのかというところで、ここに至る過程などについても評価するような指標を設定されるといいのかなというふうに思いました。それと4) - 2「水産業の振興」ですが、施策内容の中で、「資源管理型漁業を推進する」というふうに書かれておりまして、これ非常に重要なことだと思うのですが、具体的な取組のところに「等」と書いてあるので色々あるのかもしれないのですが、具体的な取組みにつながるようなことがみられないので、そこは入れていただいていいのかなというのと、それがその結果がどのようになったとか、資源管理がどのように進んだのかななどについても評価できるようにしたほうがいいのかなと思います。あと4) - 4「観光産業の振興」ですけれども、観光消費額の拡大を目指すということで、そこについてはより質の高い、付加価値の高いサービスを作っていくというところも重要なことだと思っておりまして、そういったところもご検討いただければなと思います。

### 【事務局】

3つの貴重なご意見をいただいたと思います。確かに「世界文化遺産の登録数」というのは非常にハードルが高いものだと思っております。具体的な取組みの中に文化財の保護であるとか、発掘調査などにつきましては、どれだけやっていくという目標はあるのですが、それがどうつながったかということの指標がなかなかここも苦しんでいる部分です。確かにもう少し、具体的な取組みがどう行われているのかについても、お示しできればこの成果がもう少しわかるのかなと感じております。「水産業の振興」の部分ですが、具体的な取組みにつきましては、今回は決め込まずに「等」というようなかたちで、今後も付け加えられるようにしております。施策内容につきましてはこれでいくのですが、具体的な取組みにつきましては、施策内容を実施するために、今後もフレキシブルに対応したいということですので、資源管理をどのようにしていくかですとか、それも確かに漁業者の皆さんが、そういったことで漁期を決めてきちんとやっておられるわけですので、そのへんも具体的な取組みの中につきましては、取り入れて検討していきたいと思っております。「観光産業の振興」につきましても、観光は重要視していかないといけない部分でして、他の地域との差別化といいますか、特色を出すということについては、付加価値があって観光客に来ていただけるものだと思っております、新しい視点をいただきましたので、検討していきたいと思っております。

### 【米澤委員】

数値目標の話がでておりますので、それについて一つ申し上げます。先程の5) - 1「就労支援の促進」についてですが、若者の地元就職の推進というのは、人口の視点から行くとかなり重要だと思っております。このKPIで若者の地元就職が測れるような目標が一つあるといいなと思っております。具体的にこれというのは難しいと思っておりますが、例えば、高校生の地元企業へ就職した人数や、市内の企業で新卒採用した人のうちの地元の人の人数など、実際に測れるかどうか難しいと思っております、こ

ういったものが何か一つあるといいように思います。あと、先程一ついい忘れたのですが、ふるさとハローワークですが、こちらは私どもの組織ですが、ふるさとハローワークというのは、志摩市の要望でつくった組織ですので、もっと色々、市役所で何かに利用していただけたらいいなと思います。例えば、資料を置くこともできます。そんなにスペースはありませんがそういったこともできますので、ふるさとハローワークを利用していただければと思います。何かアイデアがあれば言っていただければと思います。

#### 【事務局】

若者の地元就職につきましては、高校生であれば、例えば水産高校とか志摩高校とか一生懸命やっていたいて、かなりの率の方が地元で就職されているということは聞いております。そういったことにつきましても、若者が地元へ就職するために、仕事の体験といったものが、実を結んでそういったところに行っている部分もあろうかと思えます。高校のこと、あるいは企業についても、もし内訳等を教えていただけるような企業があれば、そういった数字を出していけばよいかと思えますが、なかなかプライベートの部分にもなってくるかもしれません。志摩市の若者の就職状況につきましては、もう少し詳しく知りたいというところもありまして、可能であれば入手していきたいとは思っております。ふるさとハローワークにつきましても、どういった業種がどうなっているとか、ハローワークの方に教えていただいて、それをもとにこういった産業が今人手不足になっているとか、そういったことをお聞きして移住相談会等に臨んでいるところですが、「施設そのものを市が利用できる」という話だったと思いますので、移住のことだけではなく、何かできればいいなと思いますので、その辺も担当課へ話をしてみたいと思います。

#### 【米澤委員】

チラシを置くだけでもいいと思います。市役所のPRをしてもらってよいです。関係のないようなものもおいておりますので。

#### 【事務局】

ハローワークの事務所の中に置かせてもらえるということですね。ありがとうございます。

#### 【牧谷委員】

先程の「生涯学習・スポーツの推進」の件で、補足します。評価自体は、「スポーツが好き・嫌い」といった、そういった感じの指標でいいのではないかと思います。「体を動かすのが好き・嫌い」とか、そういう評価でいいと思っていて、好きの延長線上に全国大会、極めた先に全国大会があるのではないかと思います。

#### 【東川委員】

一点すみません。今の意見を否定するつもりはないのですが、この評価基準は、すごく大事だと逆に思います。私自身も学生時代にスポーツで頑張って全国大会等に出た経験があるので、そういったことを評価してもらうことはよいと思います。志摩市はスポーツする環境に恵まれているわけではないと正直思っていて、極めたいとかうまくなりたいたいか上手になりたい子はさらに上を目指そうとすると、やはり志摩市を離れていってしまうと思います。しかし、志摩市にいながらにしても全国大会に出られるという、頑張っている子ども達がいるということがわかると、別に志摩市で

も頑張れば全国で活躍できると思える、別に外に出て行かなくても自分の頑張り次第でなんとかなるというところがわかる。サッカーでも上手になりたいと思ったら静岡県へ行ってしまっている子がいたりとか、下手するとゴルフとか上手になりたいと思ったら家族で強い所に移住していったりとか、それが最終的に人口減少になってしまうところにもなると思うので、頑張っている人たちがいることを知ることで、自分も頑張ればそうなれる、ここにも大丈夫なんだということにも、伝え方次第、感じ方次第、とらえ方次第ではあると思いますが、こういった評価基準があったほうが、目に見えてわかりやすいと思います。こういった全国大会に出たいとか、頑張っている人たちは、志摩市に壮行会をしてもらい、応援してもらった事によって志摩市に誇りをもって、自分が志摩市の出身なんだということを認識した上で大会にも出ると思います。そして将来的に活躍して「地域で何か自分ができることがないだろうか」と考えたりするきっかけにもなると思うんです。志摩市に応援してもらったという記憶があれば、志摩市から離れて暮らしていても、自分のふるさとの子どもたちに対して何か自分ができることはないだろうか、というので子どもたちを指導する側になったりするとか、そういった意味で、地域貢献というところの人材の育成にもつながるのかなと思います。こういった数値で出してもらっていることは、上手でない人が評価されていないわけではないわけではないと思いますし、頑張っている人は頑張るまでの過程があって、頑張ったことを評価されるに値することもしていると思います。そういった人たちは、志やモチベーションが高いと思いますので、将来はその地域に貢献する人になってくれて、その子たちに教えてもらった子どもたちが「あんな人になりたいな」、「昔、志摩市の人達に教えてもらったから自分もこんなふうになりたい」という憧れや目標を持って成長していったら、そういった人たちもまた志摩市に貢献する人に成長していく、人の循環や流れとかがそこで上手にできると思います。スポーツはわかりやすい分野だと思うので、そういった部分の評価というのは、ある程度、今記載してもらっている形で示すことは、大事なのではないかと思います。

#### 【岩崎会長】

どちらのご意見も参考になります。これは複数の視点から評価するとか、サブの指標を設ける、途中の過程を評価する、そういうところで解決を図るようなことかなと思います。ここはご意見を踏まえて、事務局でさらにご検討いただくということをお願いします。

#### 【齋藤副会長】

今のご意見は、施策内容の1行目の「また」よりも前の部分の評価指標がないということの話だと思います。「また」以降の評価指標は、現行のままでいいんじゃないかと思います。「また」より前の部分の指標がないので、ここを何か指標を考えていただけるとよいかもかもしれません。以前の広報に掲載されていたんですが、今年度の事業で健康づくりマイレージ事業があるかと思いますが、もう終わりますか。

#### 【事務局】

これからも続くと思います。

#### 【齋藤副会長】

続くのであれば、このあたりと絡めて指標を作っていただくとかどうでしょうか。スポーツに全世代が関わるという話なので、そういった取り組みも含めてみてはどうでしょうか。

### 【清水委員】

うまく市民が参加されているようなスポーツイベントがあると思うのですが、もしそんな指標がとれるのであれば、マラソンでいえばロードパーティーもされておりまして、確かに市外県外からのお客様という部分もあるかと思いますが、何かそういったスポーツイベントで市民の参加がどのようになっているかということも一つの指標としてあればいいのかなと思います。一方では、スポーツ選手を育てるといった部分も必要ですし、市民レベルで、そういったスポーツを親しんでいるというところが何かわかればいいのかなと思います。

### 【尾間委員】

4) - 4 「観光産業の振興」で、施策内容の1行目の「自然、文化、食等の高いポテンシャルを活かした」という一文があります。なるほど、ここに高いポテンシャルはあるな、とうなずけるのですが、私たちが普通「ポテンシャル」という言葉を使う時には、「ポテンシャルはあるんですけど」みたいな言い方で、ちょっと言い訳的に使う事がある気がします。先程、柴原委員から、いろいろな事業を経済、お金儲けに結びつけようというお話がありました。経済に結びつけるには単に色々な行事を夕方遅くまでひっぱれば宿泊するんじゃないのという簡単な考え方があるかもしれませんが、たぶん泊まらない、無理してでも帰ると思います。なぜかというと、明日したいことがないからです。例えば、この行事に参加して今日泊まって、さて明日何しようとなった時に、志摩市には高いポテンシャルはあるんです。そのポテンシャルをどうやって享受したらいいのか、どうやって体験したらいいのか、というところがないのではないかと思います。いろんな観光ガイド、雑誌があると思うんですけども、そういうものを見ても、たぶん志摩市のページは、飲食店が多く記載されていて、ともやまの展望台などもありますけれども、距離的にも遠くない、道が良くなってきていることもあるのかもしれませんが、「また今度、日帰りで来ようか」みたいな、ドライブコース的に小刻みに来られるというのが、もしかしたら、あるのかもしれないのかなという部分があります。そのポテンシャルというものを、もっと具体化して、「あれもこれもあります」、「1泊では足りないです、2泊3泊しないと」というくらいのものが何かもっとあるはずなんです。そのポテンシャルを説明してくださいと言われたら、「すばらしい自然・食・文化です」って言えるんですが、じゃあ、それをどのタイミングで、どれをお勧めしたらいいのか、というのが難しい。「ポテンシャルはあるのに」というところが、この表現の中であって、地域に住んでいる私たちを含め、市役所の方も含め、歯痒さがあるような表現にも聞こえてしまって、そこがもっと上手にできればなと感じます。私には、何が芯になるのか、上手にお伝えすることができないのですが、ここにいらっしゃる委員の方も含めて、皆さんとても歯痒いという思いがあるのだろうなというふうに思いました。

### 【事務局】

ポテンシャルの話については、施策内容に「明確なターゲットを定め」と書いてありますが、ターゲットによってポテンシャル、どういったポテンシャルの部分を提供するのかということにもつながるのかもしれませんが、インバウンドとか高齢者とか若い人とかいろいろな分野について、どこへ働きかけていくのかということも当然やっていると思いますけれども、そういったこともあるし、そこへ行くにはどの交通を使ってどうやって行ったらいいのか、何時に乗ってどこへ行ったらいいのか、志摩市ですと電車もあるし、バスもあるし、船もあるし、いろいろな交通機関があり、逆に楽しめるかもしれませんが、今ですと色々なアプリで行先の検索もできます。行った先に何がある

のか、何分で行けるのか、何日で行けるのか、そこの料金はいくらなのか等いろいろなことが、もう少し情報として提供されて、パック旅行ではなくて、自分で行きたい場所に行くという、行きたいところへ年代とかあわせてということで、行ければいいかなということで、今、MaaS とか色々な取り組みも実施しております。着地型でこういうものがあるというのが、まだまだ示されていない状況であると思いますので、そのところも、そこに行ったらこんなおいしいものがあるとか、きれいなものがあるとか、ということも含めて、今後 MaaS に関しては強化しながら、集客していくというふうには聞いております。「こんなものがあるよ」ということをどのように周知するのかということが課題なのかなと思います。

#### 【尾間委員】

「なんでも志摩市コンシェルジュ」みたいな、相談窓口というか、観光案内所ではないけれども営利目的ではないにしても、そういうものがあって、志摩市でわからないことがあったらとりあえずここに聞いてみようかなとか、バスの時間は何時ですかとか、これを食べたいけど、どこにありますか、きれいな夕日が見たいのですがどこですか、といったことを聞けるコンシェルジュみたいなものがあるとよいと思います。それを受け持つ人は、それこそ高いポテンシャルを求められると思うのですが、年代が高くてここに長くお住まいの方のほうがいいかもしれないですし、よそから来られた方がほうが、ここの良さをご存じかもわかりません。縦割りじゃなくて、横に広く受けてくれる受皿みたいなものがあれば、とりあえず志摩市のホームページを見るとその電話番号が出てきて、例えば「ちょっと志摩へ行きたいんだけど、80代の高齢者と志摩へ行くんだけど、どこ行ったらいいかな」というような漠然とした質問にも、ある程度答えてもらえるようなものがあるといいなと思います。

#### 【井上委員】

少し議題から外れるかもしれませんが、1) - 2 「時代に対応した教育の推進」で、真ん中の具体的な取り組みに、学校図書館支援員配置事業とありますが、私は浜島なのですが、浜島学習センターに図書室があり、小学3年生の孫に学校で本を読ませるのがあって読ませるのに、浜島生涯学習センターへ借りにいくんですね。3年生の教科書に載っている推薦図書があるんですが、3年生の力に応じた本を読ませてあげたいので、図書室へ行って「この本ありますか」と聞くのですが、浜島学習センターに無い時は、志摩図書室・磯部図書室・大王図書室・阿児の図書室で取り寄せてくれます。けど無いのです。不思議に思います。志摩市は、学校の教科書が推薦している本がない。学校の図書館のことはわかりませんが、図書室にないということは、これはどこにお願いすると買ってもらえるのか、いつも思っています。毎回10冊まで借りられるので、毎週毎週借りて160冊読んでいるんですが、その教科書で推薦している課題図書が無い。学校図書館支援配置事業があるようですが、そういうところがなんでなのかなと思います。それをいつもどこへお願いするといいのかなと、いつも発言する場所がないので、市の方にお聞きしたいのですが。

#### 【事務局】

お調べして返答させていただきます。

#### 【井上委員】

学校の先生も見えるからわかっていると思いますが、教科書に載っていますよね。

**【松井委員】**

あります。紹介しています。

**【井上委員】**

紹介していますよね。あの本はやはり3年生の子どもの力に合うと思うので、そういうものを読ませたいので、借りに行くのですが、志摩市の図書館や図書室にないのです。

県立図書館にはあります。県立図書館から取り寄せられます。でも、私は、車に乗れないのです。借りようと思うと、鵜方の図書館へ行って、申込をし、それからまた帰って、届いたらまた鵜方の図書館へもらいに行き、また読みましたら鵜方の図書館へ、3回通わないといけないのです。県立図書館から取り寄せることは出来るのですが、志摩市に無いなんてと思い、これをどこも発言する場所がないので言わせてもらいました。

**【事務局】**

教科書に載っているものが借りられないということですね。

**【井上委員】**

推薦しているものです。3年生の子供にはこの本を読ませましょうという本が、10冊か20冊、毎回毎回、1学期の教科書、2学期の教科書、掲載されています。あれが無いんですよ。不思議でしょうがない。学校にはあるでしょうか。

**【松井委員】**

学校にも全部はないと思います。あれは紹介ですので、読書感想文の課題図書は購入しますが、学校図書館の財源にも限りがありますので、その教科に特化してすべて購入するという事はやはり予算的に無理な場合もあります。何冊かはある場合も、ない場合もありますので、申し訳ないですが、探し求めていただかなくてはいけないと思います。

**【井上委員】**

そうですね。1年生から6年生までありますからね。

**【松井委員】**

全部をすべて揃えるというのは、他の分野のものを揃えられなくなるので、ちょっと無理があります。

**【井上委員】**

そうだと鵜方の図書館ですね、鵜方の図書館においてもらわなければいけません。

**【松井委員】**

すべてを揃えなければいけないという決まりはないと思います。

**【井上委員】**

決まりはないということですが、一度聞いていただけますか。

**【事務局】**

教育委員会に確認して、またご返答させていただきます。

**【松井委員】**

1) - 4 「生涯学習・スポーツの推進」ところで、子どもから大人まで、あらゆる世代がと書いてある中には、当然、障害のある方もない方という意味合いも含まれていると思います。以前から、障害のある方でスポーツの分野で活躍されている方に学校に来ていただいて学習をするという機会もあるのですが、オリンピック・パラリンピックが開催されるということで、ますます小中学校においても、スポーツとの出会いとか理解を深めるということは、増えてくると思います。その辺の具体的な取り組みの記載の中に少しでもインクルーシブな視点が垣間見られるといいのではないかと思います。障害のある方もない方も社会参加して、貢献して楽しく安心して住める志摩市ということであるとありがたいと思います。

**【事務局】**

その点は、この文章だと少しわかりづらいかもしれませんので、検討いたします。

**【畑野委員】**

最後の6) - 5 「SDGs 未来都市の推進」に関して、市の方には、本当に重い思いをさせてしまうのかもしれませんが、最後のKPIのところの「SDGsの内容を理解する市民の割合」をアンケートで聞くというのは、あまりにも人任せという気がします。これはこれで残していただいているのかと思うのですが、具体的な取り組みに事業が挙がっていて、これから、5年間いろいろな事業を実施されると思いますが、その参加者についても目標を設定されると思います。私はこの2年ほど、ここで色々な行事に出させていただいて参加させていただきましたけれども、この事業は市民目線で本当に考えられていたのかなと感じることもあり、そして動員がかけられていたりしたこともあり、少しその辺で思うところがあります。市職員が全てそうだというわけではないのですが、一つひとつの事業に緊張感をもって市民目線で考えていただけるという意味合いでは、事業の参加率を評価指標に入れていただくというのは、非常に有効かなと考えるので、ご検討いただければと思います。

**【事務局】**

その件は研究して、何か数値で求められるようなかたちを考えていきたいと思っています。

**【畑野委員】**

それで、公開していただけるということですか。

**【事務局】**

実施した以上は公開します。どのような枠で参加割合というものを設定するかなど、検討させていただきます。

### 【畑野委員】

それぞれの事業を企画する際は緊張感をもっていただかないといけないと思います。結果責任も必要だと思いますので、そういったことも含めてご検討いただければと思います。

### 【岩崎会長】

KPI や具体的な取り組みのところはまだまだ言い足りないようなことが多々あると思いますが、タイミング的には最終案に反映させられる余地はあるということを知っておりますので、本日の会議が終わった後でも、もしよければ事務局の方にお伝えいただければと思います。KPI や具体的な取り組みについては、本日のご意見を伺うと、もう一回見直しをかけていただく必要があるのかなというふうな感じもしますので、ぜひご検討していただきますようお願いいたします。

### 【東川委員】

評価基準となる KPI の数値を算出するにあたって、過程が重要になってくると思います。一つひとつの事業をどのように実施して、このように評価します、みたいなものがあつたほうがよいと思います。その事業に対しての実施方法を審議する必要はないのでしょうか

全部やると大変だと思いますが、「講演会を実施して何人の参加を得たい」という目標掲げる場合、例えば日の設定や周知方法というところで、本当に参加したい市民が参加できないようなタイミングで実施して人を集めたとしても、本当にそれを聞きたい人が聞いて数値目標が達成できたということでない、プラスにつながったという評価にならないのかなと思います。実施したことに対して参加した人たちが本当に聞きたい人たちだったのかどうか。少し言いにくい話ですが、頭数を揃えるために出ている人がいたりします。せっかく実施することに対して、数合わせで目標を達成するためだけにやったということになってもだめかなと思います。一つ一つを精査していくのは大変だと思いますが。

### 【岩崎会長】

今のご意見は、事務局への宿題とさせていただきますと思います。私たちの審議会は、おそらく全体としての地方創生の評価や検証や見直し、それが主たる任務とされていて、今までは個々の施策ですとか、個々の事業ベースで評価や見直し検討するというようなことは、あまりこの審議会の役割としての位置づけはなかったのかなと思うのですが、審議会の役割としてそういう位置づけをしてはいけないということはないと思いますので、審議会を何回やるのか、そういったことにも関わってくると思うのですが、今のご意見は貴重なご意見としていただいて、今後の審議会をどういうふうに位置付けるのかということについては、事務局で検討いただいたり、副会長と私で協議をさせていただいたり、させていただこうかなと思います。少し考えさせてください。

### 【事務局】

今までは、KPI がかなり多く、この講演会だと何人、あるいはこちらだと何人、というふうに全部の事業ごとに KPI が設定されていて、それ全部、目標の数値に対して各課が頑張ってそれに近づきましたということではあつたのですが、それが本当に人口増加とか、若者の定着とかにつながりましたかというところの KPI ではなかった。地方創生につながっているとは思いますが、つながりがよくわからないということで、今回は事業そのものの評価ということではなくて、それが地方創生につながったのか、一次産業に携わる人数が本当に増えたのか、人口の流出が減ったのかという

ところを KPI にしていきたいという、おおざっぱに言うという考え方です。目標値は、各課が頑張る目標値をあげているのではなく、当然、予算で審議されて決めた事業は一生懸命やらないといけませんので、それが地方創生につながったかという部分を KPI で確認していきたいという部分があります。確かに市民の方からみると、前よりもその事業に関して KPI とのつながりは薄れていますが、予算計上して、事業の目標に向かってやっていくというのはありますので、そこをサブ的に出していったほうがいいのかもしいかなと今思ったりもしています。そういうことで、試行錯誤している状態ではありますので、今日のご意見を踏まえていろいろ検討させていただきたいと思います。

#### 【齋藤副会長】

今のお話の関係ですが、例えば5) - 4「産業連携の推進」で、6次産業化が KPI として挙がっています。一例として、先日、浜島の伊勢志摩冷凍の石川さんにお話を伺ったのですが、これまで1次産業者とそれを売りさばく3次産業の事業者はいるのだけれども、その中をつなぐような製造業者がなかなか思うような方がいなかった。自分たちがその部分を担うことによって、全体として6次産業化になっているということであった。今までの考え方だと、1次産業者が全部2次も3次もやらないと6次産業化というふうにみなされなかったけれども、これをもう少し広い枠組みで見に行ったらどうかということで、彼は「ネオ6次産業化」というようなことをした。そうすると、市役所が6次産業化を支援していく支援の仕方も、これまで1次産業者だけをみていたけれども、実は1次産業者だけではなくて、事業者全体を見ていくというふうなことに繋がっていくと思います。この戦略に書かれていることを単純にこれまでの概念でとらえるのではなく、施策に新しい考え方も取り入れていただけるといいのかなと思います。

#### 【岩崎会長】

委員の方々におかれては、まだ言い足りないこともあるかと思いますが、その場合は、ぜひ事務局にご連絡をいただければと思います。

### 《② 地方創生審議会からの答申に向けて》

(岩崎) 本日の議題がもうひとつ、審議会からの答申に向けてご確認いただきたいことがございます。事務局より説明をお願いします。

#### 【事務局】

資料「第2期志摩市創生総合戦略の策定について(答申)」に基づき、答申案について説明。

#### 【岩崎会長】

次回の審議会は、この答申案の検討というのが中心になるのですか。

#### 【事務局】

今回、総合戦略の案にご意見いただきましたが、また、このあとに2月の真ん中頃に市議会での意見交換もありますので、それらを踏まえて最終案を作っていくので、3月13日の次回審議会に

おいては、最終案について改めて確認させていただく部分と、あとは答申の確認という同じ2本立てということになると思います。

**【岩崎会長】**

その段階で出てくる総合戦略の案に関しては、審議ではなく報告ですか。

**【事務局】**

今回は、ほぼ、最終という形で報告させていただく予定です。「もしも何かあれば」というくらいの状況だと思います。次の市議会での意見交換へは、今回の審議会のご意見も踏まえて修正しました、というかたちで出させていただくことになると思います。

次回の審議会を確認いただいて、令和2年度から新しい総合戦略をスタートさせるというふうに考えております。

**【岩崎会長】**

先程の議題との関わりでいえば、KPIですとか具体的な取り組みの内容に関し、もう少し意見したいというようなことがあれば事務局に出来るだけ早い段階で言っていただくということをお願いします。次回の審議会に向けてこの議題との関わりでいえば、答申案の審議ということも一つの重要なテーマということにもなりますので、どういった方向で審議会としての意見を取りまとめて答申というかたちにすればよいかということについて、ご意見をいただければと思います。具体的にこのような項目を入れたらどうかというようなご意見でもよいと思いますし、また、こういう方向性で答申を取りまとめていったらどうかというような方向性や視点などについても、ご意見いただくということではいかがでしょうか。

— 賛成の声あり —

**【岩崎会長】**

先ほど、事務局とも少しやり取りをさせていただいたのですが、今、1, 2, 3という項目が立てあって、1と2は、どういう観点から総合戦略を策定すると良いか、それにかかわる意見かなと思います。当審議会は策定に際して意見を求めますというようなかたちで諮問いただいておりますので、どういう視点から策定するとよいのか、そういうことをその都度その都度ご意見いただきながら、それを総合戦略に盛り込んでいただくということも重要だと思います。ですので、このような視点は、やはり書き留めておくということが重要なことかなと思います。ただ、次回の審議会をもって一応総合戦略の案はほぼ確定、完成ということになりますので、では、それを今後どのように運用していくのかというようなことも重要なことかなと、私たちの審議会としても何か言うべき事があれば今後の総合戦略の実施に関して意見を言うことが必要かなと思います。そういう観点から3のような項目が上がっているのかなというふうに思います。3に似たような、今後の取り組みに向けてというようなことで、市の行政に留意してもらいたいことですか、あるいは市民の皆様から私たちからこう期待をしたいことですか、そういうことなどもあげていただいているのかなというふうに思っておりますが、皆さんいかがでしょうか。

ただ、いきなり作文してくださいというのは無理な課題設定で、なかなか難しいことを求めているという自覚はありますので、どうでしょうか。たたき台ということですので、次回まで

に考えてきていただいて、どんなことを盛り込むと良いかということについて、次回改めてご意見いただくということでよろしいでしょうか。事務局はどうですか。

**【事務局】**

また、本日も色々なご意見をいただき、委員の皆様の雰囲気も把握できたと思いますので、文面について再度検討させてもらい、もう一度提示させていただきまして、またそれについてご意見をいただくというかたちで進めさせていただきたいと思います。

**【岩崎会長】**

宿題みたいなかたちとなりますが、ぜひ答申案の文言などについて、お考えいただきたいと思います。また、その際には、今後、総合戦略をどのように運用していくのかに関して、審議会から何か提言ができるかというのではないかと思いますので、そういったことについてもご意見いただきますよう、よろしくお願いいたします。その他についてもお願いします。

**【事務局】**

先程、話も出ましたが、次回の会議を3月13日の14時から開催をしたいと考えております。正式な通知は、また追ってお送りさせていただこうと思います。年度末のお忙しい時に申し訳ありませんが、ご予約のほうをお願いしたいと思っております。

**【岩崎会長】**

ありがとうございます。議題を全て審議し終えたので、事務局にお返しします。

**【事務局】**

それでは、これにて令和元年度第3回志摩市地方創生審議会を終了いたします。本日はお忙しいところありがとうございました。

以上